

会 議 録

1 会議名

令和3年度第6回名立区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

1 協議事項（公開）

（1）「上越市過疎地域持続的発展計画（案）について」の諮問に対する答申について

2 その他事項（公開）

（1）令和3年度第7回地域協議会の開催予定

3 開催日時

令和3年9月10日（金）午後6時30分から午後7時30分まで

4 開催場所

名立区総合事務所 第2会議室

5 傍聴人の数

1名

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：石井浩順、小林晴子、大門廣文、高宮秀博、竹内隆、中野祐、二宮香里、畑芳雄、原田秀樹、三浦元二
- ・ 事 務 局：今井所長、山田次長（総務・地域振興グループ長兼務）、沢田市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長兼務）、石崎地域振興班長
- ・ 自治・地域振興課：田中課長、岡村係長

8 発言の内容

【石崎班長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【原田会長】

- ・挨拶
- ・今井所長に挨拶を求める。

【今井所長】

- ・挨拶

【原田会長】

- ・事務局に資料の確認と会議録の確認者の発表を求める。

【石崎班長】

- ・会議録の確認者：小林委員、大門委員
- ・配布した資料の確認

【原田会長】

- ・先回の地域協議会で説明があった「上越市過疎地域持続的発展計画（案）」について皆さんの意見、質問等あるか。

【三浦委員】

- ・持続的発展という文言について、本文では「持続可能な」という表現もある、今後の考え方として持続可能という視点で考えることを検討してほしい。
- ・地域の持続的発展のための基本目標について、基本目標は基本方針に向けて、どのように具体的に展開していくかというものだと思うが、ここでは人口目標のみの記載となっている。ほかの基本目標は掲げないのか。
- ・また、人口目標を設定するならば、それに対して具体的にどのように取り組んでいくのかの記載が必要ではないか。
- ・次に交通確保対策について、路線バスを廃止する地域や路線がない地域等における移動手段を確保するためと、地域を限定する文言があるが、路線バスがあっても高齢化により路線バスを利用すること自体が困難になってきているところもあるため、地域を限定する文言をなくすことを検討してほしい。
- ・次に、78ページから過疎地域持続的発展特別事業というものが記載されているが、これはどういう意味か。
- ・3ページに都市部と過疎地域とは共生・互恵の関係にあるとの記載があるが、この考えは過疎計画だけでなく、中心市街地活性化基本計画や都市計画などもそういった考えで作られているのか。

- ・同ページに平成の合併により都市部と過疎地域を同時に抱えることになったという文言があるが、抱えることになったという表現は迷惑なものというニュアンスに聞こえる。共存や混在などの表現がよいのではないか。

【自治・地域振興課：田中課長】

- ・持続的発展という文言について、実態は維持というのが今の正しい状況との認識も持っている。発展していきたい箇所もあるため、バランスを見て整理したい。
- ・人口目標については、国から最低限設定しなければならない項目と示されていたため、設定した経緯がある。住まわれる方の満足度や、暮らしやすさなどの別の指標の設定も検討する。
- ・また、人口目標に対する取組については、本計画に記載されている事業を総合的に取り組むことで人口の減少を緩和するという考えである。人口の増加に直接的に結びつくものとしては、移住の取り組みになる。
- ・次に交通確保対策について、所管課に話を伝え、地域を限定する文言について、今後協議していきたい。
- ・過疎地域持続的発展特別事業について、ソフト事業かつ過疎債を充てることのできる事業を記載している。
- ・3ページの抱えることになったという表現は悪い印象を与えるので、直すべきところは直したいと思う。
- ・中心市街地の計画にどのように記載されているかは把握していないが、市全体のために中心市街地を活性化しなくてはならないとの考えに立った、市全域をイメージした計画になっていると思う。

【今井所長】

- ・路線バスがある地域でも高齢者が利用できない実態について、総合事務所としても課題として認識している。昨年度も総合事務所と担当課を含め検討を行った。今後も課題が解消できるような政策を検討していきたい。

【原田会長】

- ・ほかに意見、質問等あるか。

【二宮委員】

- ・移住、定住に関する点について、リモートワークやテレワークなど色々な働き方が

出ているが、上越市では国の第三次補正予算の地方創生テレワーク交付金は利用しているのか。

- ・次に半農半Xについて、市では貸し農園やシェア畑を進めているのか。また、土壌に生息する細菌によって、抗炎症、ストレス耐性等の性質があることが分かってきている。市で土に触れる生活を勧めることはできるのか。
- ・また、日本一の米どころである新潟県の学校給食が完全米飯ではなく、パンや麺も食べている。大人になってからの食生活にも影響すると思われることから、学校給食は完全米飯にしてもらいたい。
- ・ごみの減量について、コンポスト補助金の一層の普及に加え、周りに全く家がない、燃やす場所があるなど、一定の基準を守れば、各自で燃やして良いとすればゴミがだいぶ減ると思うので、検討していただきたい。
- ・49ページに公共施設解体事業というものがあるが、公共施設解体後の土地はどのように管理されていくのか。
- ・名立区の住民は、バスで行ける労災病院に馴染みがあるが、内科医が不在である。市として内科医をどう確保するのか。
- ・若年層のスポーツ人口が減少する中であって、地域によっては、地域活動支援事業を使って学校の部活動の備品を購入している。本来は学校が用意するものだと思うので、市で予算化はできないか。
- ・地域協議会や地域活動支援事業については、市長が変わっても継続されるのか。また、地域活動支援事業の審査基準が区によって違う、協議会委員の研修時間が少ない、地域協議会に実行部隊がないなど、上越市の住民自治についてもう少し検討してほしい。
- ・中山間地域振興作物生産拡大事業補助金で、山菜やそばのほか、ヨモギを作付けした場合も対象となるのか。

【原田会長】

- ・関連する部分だけでもよいので、回答を求める。

【自治・地域振興課：田中課長】

- ・個別の取組に関するご意見、ご提言であったため、各担当課に伝えて回答したいと思う。

- ・私の承知している範囲では、施設解体後の土地は、市の土地であれば草刈りを年に何回か行うのが一般的なので、そのままにするということはないと思う。
- ・地域活動支援事業が市長の変わった後どうなるかは不明だが、地域協議会、地域活動支援事業については、市議会において継続的に検討されており、来年4月位に提言が出されると聞いている。
- ・市議会からの提言も踏まえて、改善すべきところは改善していく。次の委員の募集までには何かしらの方向を出す予定としている。
- ・地域活動支援事業は、地域のことは地域の皆さんで考えるとの考え方から、審査基準や優先して採択したい事業は市でルール化せずに地域協議会の考えで進めていくものとしているため、地域ごとの違いは否定していないので、ご理解いただきたい。

【原田会長】

- ・ほかの皆さん何かあるか。

【石井委員】

- ・中山間地域等直接支払制度は3年に1回の見直しだったと思うが、名立区で3年は長すぎる。名立区だけでなく、山間部や高齢者が多い土地ほど3年という期間はできないという人が増えてくるため、期間を短くするよう検討してほしい。

【沢田グループ長】

- ・中山間地域等直接支払制度は、現在5年になっているが、5年という期間が長いという声があることは承知している。4期対策と今の5期対策においては、条件が緩やかになっている部分もある。詳細は担当課から回答させていただきたい。

【原田会長】

- ・上越市過疎地域持続的発展計画（案）についての諮問をするための協議をしているため、この点についての質問をするようお願いしたい。

【中野委員】

- ・上越市過疎地域持続的発展計画は過去にも出されていると思うが、過去の計画の反省をまとめた文書は出しているのか。

【自治・地域振興課：田中課長】

- ・それは承知していない。

【原田会長】

- ・ほかに何か質問等あるか。

【各委員】

- ・意見及び質問なし

【原田会長】

- ・名立区協議会として「上越市過疎地域持続的発展計画（案）」を認めるということでよいか。

【中野委員】

- ・賛成もしないし、反対もしない。

【原田会長】

- ・承知した。地域協議会として、認めるということでよいか。

【各委員】

- ・意義なし

【原田会長】

- ・では地域協議会としてこれを認める。

【原田会長】

- ・その他の事案について事務局に説明を求める。

【石崎班長】

- ・前回の地域協議会で審査した地域活動支援事業について報告する。
- ・採択額を伝えたくえで事業実施の可否について伺ったところ、すべての団体から事業を実施するとの回答が得られた。9月9日までにすべての団体から補助金申請が提出され、採択額と同額で交付決定している。
- ・次に、「ろばた館」に関するアンケートについて、アンケート結果を入力いただいた委員の皆さんに感謝する。現在入力データの集計中であることから、地域協議会後に進捗状況を報告する。
- ・次に、前回の地域協議会で質問のあった地域活動支援事業の採点の集計表をお渡しする件について、確認したところ、お渡しすることは問題ないということだった。今後はどのようにするか、委員の皆さんで検討いただきたい。

【原田会長】

- ・この場で皆さんの了解をいただければ、次回から採点表を渡すということにしたいがよいか。

【各委員】

- ・意義なし

【原田会長】

- ・次回からは採点表を渡すこととする。

【石崎班長】

- ・今年度の視察研修について、13区の地域協議会事務局に確認したところ、現時点で実施するとしているのが2区、そのうち1区は実施済み。中止を決定しているのが4区。その他は概ね市内や区内での実施を検討中だった。今年度の視察研修について当区はどうするか議論いただきたい。

【原田会長】

- ・現在、新型コロナウイルス感染状況も落ち着いているとは言えない。また検討している区に関してもほぼ区内での実施、県外の方を講師として呼ぶ場合はリモートでの実施を考えているようだ。周りの状況を見ながら必要があれば研修会をしたいが、新型コロナウイルスの状況もあるため、事務局と相談しながらご提示したいと思うがよろしいか。

【各委員】

- ・意義なし

【原田会長】

- ・ではそのようにする。

【沢田グループ長】

- ・ひなさき運動広場とナイター照明の工事について経過を報告する。両工事とも工期はまだあるところだが、照明の工事については終了した。ひなさき運動広場については、水道管の撤去工事があるが、来週あたりからグラウンドと公園について使用できるようになる見込みである。その際には防災行政無線でご案内する。

【原田会長】

- ・皆さんからその他事項はないか。
- ・令和3年度第7回地域協議会の開催予定について、事務局に説明を求める。

【石崎班長】

- ・第7回地域協議会の日時：令和3年10月19日（火）午後6時半から

【原田会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

名立区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL 025-537-2121（内線 223）

E-mail: nadachi-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。